

令和5(2023)年9月1日

第34回(令和5年度)手話通訳技能認定試験(手話通訳士試験)

学科試験

科目『国語』における不適切問題について

本年7月23日に実施した「学科試験」の科目『国語』に不適切問題があったため、以下の措置をとる。

記

○対象問題：科目『国語』問10

10 下線部の言葉の使い方が適切なものを、下の中から一つ選びなさい。

1. 彼は小さい頃から苦勞しているのに、世間ずれしていない。
2. 入院中の祖母が水菓子が食べたいというので、冷えたゼリーを届けた。
3. そんなうがった見方をしないで、少しは素直に受け止めてみようよ。
4. 一人で留守番をしながら、テレビのお笑い番組を見て爆笑した。

○採点上の取扱い

全員に得点を与える。

○理由

当初、選択肢1を正答としていたが、正答が複数あることが判明したため。